

HTIヒーリングタッチ認定プログラム

ヒーリングタッチは、人のエネルギーシステムを整え、自然治癒力を高める健康と癒しのためのバイオフィールド(エネルギー)セラピーです。身体、または、身体から数センチ離れたところにあるエネルギーフィールドに手で触れ、エネルギーフィールド(オーラ)やエネルギーセンター(チャクラ)の滞りをとりのぞき、バランスさせ、活性化し、受け手が自然治癒力を発揮しやすい環境を整えます。肉体的、感情的、精神的、スピリチュアルな健康と癒しを高めます。身体への侵襲性は極めて少ない手技です。ヒーリングタッチにより、受け手は、心地よさ、リラックス、痛みの軽減、気分の向上、安心感、活力などを得て、心身や生活がより心地よくなる状態を回復することができます。

ヒーリングタッチは、常に無条件の愛のスペースであるハートから行うヒーリングです。エネルギーワークは誰でも行うことができますが、ホリスティックな考え方に基づき、ハートのスペースからヒーリングを行うのがヒーリングタッチの特徴です。そのための学びと、自己成長と変容の機会を提供するのが、HTIヒーリングタッチ認定プログラムです。

このプログラムは、1989年、米国ホリスティック看護師協会(AHNA)の教育委員会の依頼で、ジャネット・メンゲンが開発した看護継続教育プログラム「AHNAヒーリングタッチ認定プログラム」を1996年に継承したものです。HTIヒーリングタッチ認定プログラムは、ヒーリングタッチを、入門から上級まで段階的に学ぶAHNAの承認プログラムです。プラクティショナーIIを修了した後、ヒーリングビヨンドボーダーズ/HTI(ヒーリングタッチ・インターナショナル)から認定を受ける資格を得ます。

ベーシック：ヒーリングタッチの基礎

経歴・職業を問わずどなたでもご参加いただけます。ホリスティックなヘルスケアの実践の基礎となる理論的な概念が、ヒーリングタッチの実践における核となる価値とどのように関係しているのかを探究していきます。人のバイオフィールドとどのように調和するのかを理解し、エーテル層において用いるヒーリングタッチのテクニックを学びます。

- 内容
- ・ホリスティックなエネルギーヒーリングの基礎
 - ・癒しのあり方の育成
 - ・核となる価値とヒーラーとしての開発
 - ・人のエネルギーシステムの原則とアセスメント
 - ・ヒーリングタッチ・セッションの枠組み
 - ・エネルギー介入法：チャクラコネクション、チャクラスプレッド、フィールドリパタニング、レーザー、メスメルクリアリング応用、ノエルズマインドクリアリング、スカダーメリディアンクリアリング
 - ・臨床への応用：疼痛・頭痛マネジメント
 - ・臨床家としての倫理と法



アドバンスI：エネルギーパターンと臨床への応用

ベーシックを修了し、ヒーリングタッチをさらに深く学びたい方が対象です。クライアントのエネルギーフィールドの再パターン化を手助けするためのインテイク・インタビューのスキルを学びます。インテイクから行動パターンを見極め、エネルギーフィールドの再パターン化を助けるヒーリングタッチ・テクニックを習得します。ヒーリングタッチへの理解は、クライアントがハートのエネルギーを拡大するのを手助けするテクニックの習得とともに深いレベルへと進んでいきます。

- 内容
- ・ヒーリングの環境づくりとそのサポート
 - ・アセスメントのスキルとエネルギーのパターン化
 - ・エネルギー介入法の臨床での応用
 - ・エネルギー介入法：チャクラコネクション、グリーンパシシステムサポート、ホピテクニック、スパイナルフラッシュ、スパイラルメディテーション
 - ・臨床ケースの記録の仕方
 - ・開発途上のヒーラーとしての専門的な倫理と法



アドバンスII：上級ヒーラーの準備

ベーシックとアドバンスIを修了し、更に深い技術と知識の習得を望む方が対象です。エネルギーバイブレーションを高める技術を習得し、バイオフィールドの上位層に対して用いるテクニックの適用を促します。

- 内容
- ・人のエネルギーシステムのアセスメントの深化
 - ・自身のエネルギーバイブレーションを高めた上級ヒーラーの準備(コアスターの拡大、ハラアラインメント、チャクラの回転)
 - ・上級ヒーラーとしてのセッションと臨床への応用、その根拠
 - ・エネルギー介入法：セレスティアル/ケレリックプレートリパタニング、キレーション、ディープオーラリパタニング、第5層のヒーリング、エーテルプレートリパタニング、グリーンパシシステムサポート、リンパクリアリング、スパイナルクリアリング
 - ・上級ヒーラーとしての倫理の適用と超感覚知覚の活用

プラクティショナーI：ケースマネジメントと実践

ベーシックとアドバンスIを修了された方が対象です。専門家としての実践への責任に基づいて、ケースマネジメントを学び、時間をかけて、様々なヒーリングタッチ・セッションを実践していきます。

プラクティショナーII：自己評価と専門家としての成長

プラクティショナーIを修了された方が対象です。メンターシップにおける演習の完了を確認し、評価し、プロのプラクティショナーとしての成長を促すために、各自の課題を見極める手助けをします。